

2020年3月17日

西日本旅客鉄道株式会社

山陽新幹線・北陸新幹線における車内セキュリティ向上の取り組みについて ～ 社員間の連携強化、車両機能の整備により更なる安全確保を図ります ～

山陽新幹線・北陸新幹線においては、新幹線車内でのお客様の安全を確保するため、客室内への防犯カメラの整備や警備員による車内巡回の取り組み、テロや犯罪の発生を想定した訓練を計画的に実施してきました。このたび、更なる車内セキュリティ向上を図ることとしましたので、お知らせします。

1. 新幹線の運行に係る社員間の情報共有ツール「グループ通話アプリ」の導入（別紙1）

■ 導入線区・時期

山陽新幹線、北陸新幹線 3/14以降順次

■ 対象者

車掌、客室乗務員、運転士、指令員、車内販売員※、車両保守担当社員、警備員

※車内販売員は、山陽新幹線のみ。

■ 導入端末台数

約1,000台

■ 導入効果

関係社員間で迅速なグループ通話ができるため、異常時における円滑な情報共有・連携が可能になります。

■ 使用イメージ

- ・各社員が、配備された携帯用端末を使用し、担当列車の業務開始までに通話グループに参加した上で使用します。
- ・通話グループ内で一人の社員が情報発信すれば一斉に情報共有されます。

2. 指令員による車内の状況把握、お客様案内を可能とする機能の整備（別紙2）

■ 整備する機能

- ① 車内非常ボタン扱いの発生が指令所に通知
- ② 車内の防犯カメラ画像を指令所で表示
- ③ 指令所から個別の列車に直接車内放送を実施

■ 整備効果

- ・指令員による車内の状況確認を可能とし、異常時対応の迅速化を図ることができます。
- ・乗務員が車内対応にあたっている際に、指令員からお客様への情報提供が可能になります。

■ 対象線区・車両

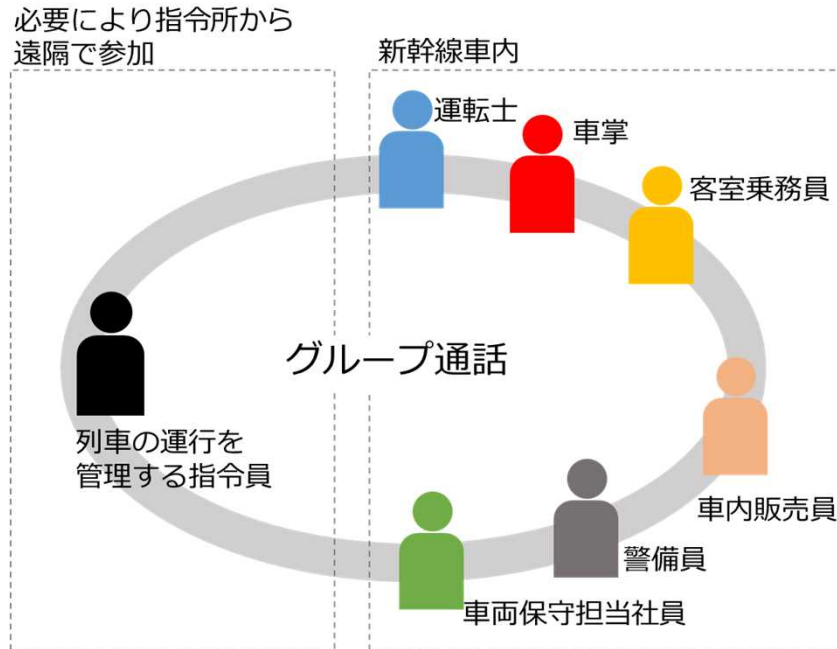
山陽新幹線 N700系(16両編成、8両編成)、北陸新幹線 W7系

■ 整備時期

2020年度以降に順次運用開始、2021年度中に整備完了予定

※山陽新幹線については、2019年7月24日にJR東海がプレスした内容と同様の技術を導入

別紙1 新幹線の運行に係る社員間の情報共有ツール「グループ通話アプリ」の導入



グループ通話を使用した際の情報共有イメージ



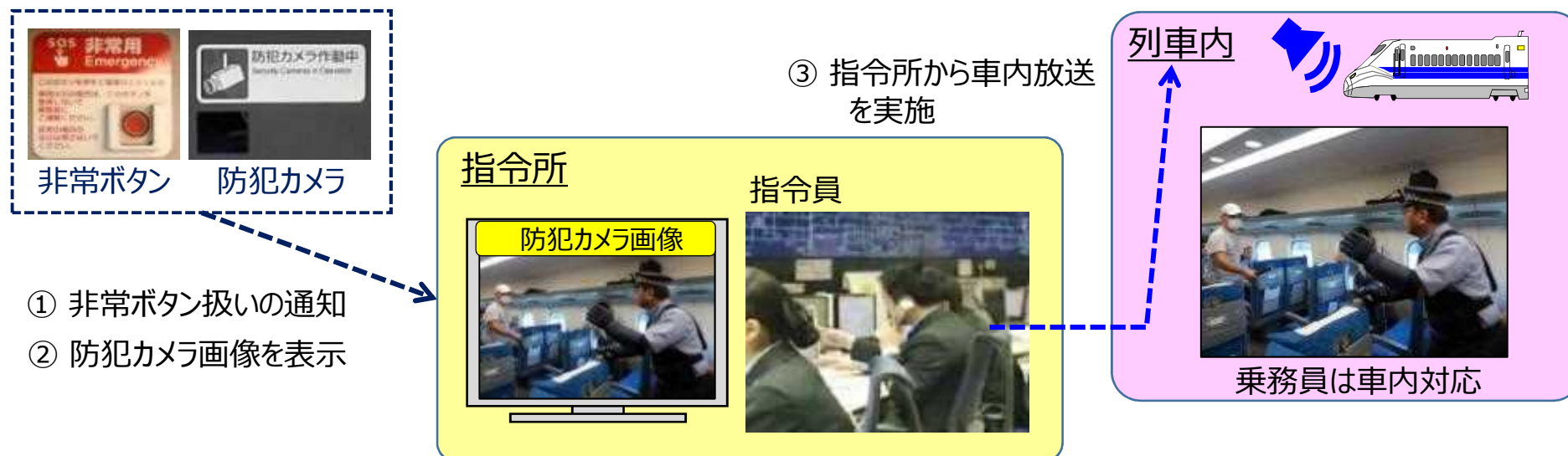
使用イメージ



使用する端末とイヤホン

関係社員間で迅速なグループ通話ができるため、異常時における円滑な情報共有・連携が可能になります。

別紙2 指令員による車内の状況把握、お客様案内を可能とする機能の整備



- ・ 指令所への車内非常ボタン扱いの通知や防犯カメラ画像の表示を可能とすることにより、異常時対応の迅速化を図ることができます。
- ・ 指令所からの車内放送を可能とすることにより、乗務員が車内対応にあたる際に、指令員からお客様への情報提供を行うことができます。